



ピース! Peace

Team Shiroyama

Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう！

HP <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

令和 5 年 8 月 8 日

学校だより第 7 号

校長 宮田 幸治

平和な世の中にするために、気づき、考え、実行する子供に

今年度、本校では、「いたわりはげます 平和な学校」～平和は城山から～の学校教育目標のもと、子供たちが、互いの違いや互いの考えのよさを認めながら互いに納得して力を合わせていく姿、共に助け合いながら活動していく姿は、意見の対立からの争いをなくし、平和な世の中づくりに向かっていく姿へとつながっていくものと考え、「Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう！」の合言葉を示しています。ふと学校の玄関で青少年赤十字加盟校であることを示す札に目が留まりました。その札には、「気づき」「考え」「実行する」と、子どもたちの主体性を育むための目標が示されています。これは、子どもたちが赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として掲げられているものです。まさしく、本校の合言葉に込められた願いをわかりやすく示した言葉だと改めて感じました。子どもたちは、これまでの平和に関する学習を通して「平和の大切さ」「平和を発信することの必要性」はしっかりと理解しています。自分たちの周りの状況から「気づき、感じて」「どのようなことに取り組むことが必要なのかと考え」「うまくいかないかも…としり込みすることなくやってみる」と、理解していることを土台として行動につなげてほしいと思っています。



山里中学校では、平和公園の折り鶴が燃やされる事件が起きたときに、「代わりに折り鶴を作って飾ろう。」と生徒からの提案を受けて、7月に全校生徒で鶴を折ったそうです。「気づき」「考え」「実行する」とは、このような提案ができるようになることだと思います。小学生は小学生なりの考えでよいと思います。「友達ともっと仲良くするために…。」「全校が楽しくなるためには…。」「みんなが気持ちになるためには…。」と、周りにおきていることや友達の様子に「気づき、思いを巡らせる」子どもとなってほしいと願っています。

台風のため全市的に登校日が中止となり、残念ながら今年度の平和祈念式及び原爆殉難者慰霊式を行うことはできなくなりました。しかしながら、8月9日は、本校にとっては特別な日です。原爆の悲惨さを継承し、平和の尊さを発信していくのは、城山小学校で学ぶ私たち一人一人の使命です。全員が揃って平和への祈りを行うことはできませんが、それぞれが「平和は城山から」を胸に、平和な未来を築いていくことを誓って平和への思いを新たにしてほしい、そして城山小学校の子どもとして行動ができるようになってほしい、と思います。